

栃木県の「春の防災フェスティバル」に初めて出展

～リーフレット「HELP! その前に学ぶ・備える栃木の自然災害」の普及を図る～

日本損害保険協会 関東支部 栃木損保会(会長:小野 智康 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 理事 栃木支店長)では、3月2日(土)に栃木県防災館で開催された、栃木県主催の「春の防災フェスティバル」に初めて参画しました。

栃木県消防防災課では、消防防災に関する知識や技術の普及を図るため、毎年同フェスティバルを開催しており、当協会では、今年の2月に改定したリーフレット「HELP! その前に学ぶ・備える栃木の自然災害」により、自然災害に備える損害保険の周知・普及を図るため今回出展を行ったものです。

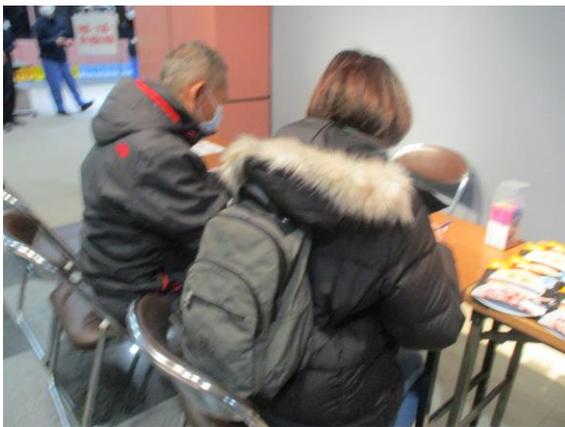
当日は、多くの県民が来場され、来場者にリーフレットを配布し、展示パネルで栃木県の自然災害(地震、風水害、落雷)の危険と、それに備える保険として地震保険、火災保険(水災補償)の必要性について確認いただくとともに、地震保険に関するクイズを行い、間違った箇所について協会職員が丁寧に解説を行いました。

栃木県では、2022年度の地震保険の付帯率が73.3%と全国平均の69.4%を上回っているものの、クイズ参加者の回答を見ると、地震保険による火災での家屋の消失は、火災保険で補償されることや、地震保険の保険料がどこの保険会社も同一であることを知らない方も散見され、地震保険についての理解は必ずしも十分でない面も見受けられました。

このような状況を踏まえ、当支部では、今後も引き続き、自然災害リスクとそれに備える地震保険、火災保険等の加入促進に向けて、行政と連携して取り組んでまいります。



リーフレットを説明する小野会長



クイズに回答する来場者



パネル展示の様子

以上